

## IPC 公認 2015 ジャパンパラ水泳競技大会 開催要項

- 1 目的 障がい者の水泳競技の競技力向上を図るため、国際規則に則った高いレベルの競技会を開催し、国内の水泳競技への志向意欲をより高めるとともに、広く社会参加の促進に資することを目的とする。
- 2 大会名 2015 ジャパンパラ水泳競技大会
- 3 主催 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会
- 4 共催 一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟（以下「JPSF」という。）  
一般社団法人日本知的障害者水泳連盟（以下「知的水連」という。）  
日本ろう者水泳協会（以下「ろう水協」という。）
- 5 主管 公益財団法人東京都水泳協会
- 6 後援 文部科学省 東京都 江東区 江東区教育委員会  

予定
----

 公益財団法人日本体育協会 公益財団法人日本オリンピック委員会 公益財団法人日本水泳連盟  
日本障がい者水泳協会 一般社団法人日本マスターズ水泳協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟  
全国聾学校体育連盟 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会
- 7 JPSA オフィシャルパートナー  
日本航空株式会社 JA共済連 田中貴金属グループ 東京ガス株式会社 中外製薬株式会社  
フジッコ株式会社 三菱商事株式会社 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 三菱電機株式会社  
サントリーホールディングス株式会社 大同生命保険株式会社 凸版印刷株式会社  
株式会社モリサワ トヨタ自動車株式会社 株式会社ゴールドウイン 東日本旅客鉄道株式会社  
東京建物株式会社
- 8 JPSA オフィシャルサポーター  
トラスコ中山株式会社 西濃シエンカー株式会社 カリフォルニア・レーズン協会 日野薬品株式会社  
株式会社富士住建 株式会社グロリアツアーズ 株式会社 JTB コーポレートセールス  
大塚製薬株式会社 ビタカイン製薬株式会社 株式会社福祉施設共済会 株式会社ティーガイア  
株式会社コメ兵 エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社 住友金属鉱山株式会社  
株式会社エアウィーヴ 野村ホールディングス株式会社
- 9 協力 

予定
----

 東京都障害者スポーツ指導員協議会 東京都障害者水泳連盟 東京 YMCA
- 10 期間 平成 27 年 9 月 5 日(土)～6 日(日) (4 日(金)クラス分け・練習)
- 11 会場 東京辰巳国際水泳場 江東区辰巳 2-8-10 TEL:03-5569-5061
- 12 実施種目 別紙「実施種目及び標準記録一覧表」による。

### 13 参加資格・制限

JPSF 登録者については、次の(1)～(3)の条件を満たす者、または(4)、(5)に該当する者。知的水連登録者については、(1)及び(6)の条件を満たす者、または(5)に該当する者。ろう水協登録者については(1)及び(7)の条件を満たす者、または(5)に該当する者。聴覚障がい者で JPSF とうろう水協のどちらにも登録している者は、どちらかの団体を選択すること。

- (1) 身体障害者手帳または療育手帳を所持している者で、2015 年度 JPSF または、知的水連または、ろう水連に選手登録をしている者
  - (2) JPSF 登録者については、次の競技会のいずれかにおいて 1 種目以上、別紙「実施種目及び標準記録一覧表」に示す標準記録に達している者。
    - ・平成 26 年度 第 14 回全国障害者スポーツ大会(長崎大会) 第 31 回日本身体障がい者水泳選手権大会  
2014 年 7 月 22 日以降に開催された IPC 公認大会
    - ・平成 27 年度 第 29 回関東身体障害者水泳選手権大会 第 22 回中部障がい者水泳選手権大会  
第 26 回近畿身体障害者水泳選手権大会 第 25 回東北障害者選手権水泳競技大会  
第 21 回中国四国身体障害者水泳選手権大会 第 26 回九州身体障害者水泳選手権大会  
IPC 公認大会
  - (3) JPSF 登録者のうち、聴覚障がい者を除いては、IPC の規則に基づくクラス分けが済まされていること。(国際大会に出場した選手、FCS クラス分けを受けた選手以外はクラス分けが済まされていないものとして扱う。)
  - (4) JPSF 登録者について、大会当日 19 歳以下の選手で別紙「実施種目及び標準記録一覧表」に示す標準記録に達していない者については、50m 自由形(予選)のみオープン種目として参加できる。ただし、その出場資格は第 31 回日本身体障がい者水泳選手権大会の標準記録を達成したのものとする。(表彰対象とはならないが、記録証は発行される。)
  - (5) 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会から推薦を受けた者。
  - (6) 知的水連登録者については、次のいずれかの競技会において、別紙「実施種目及び標準記録一覧表」に示す標準記録に達している種目に 2 種目まで参加できる。また、平成 27 年度 INAS・IPC 選手登録者は、標準記録に達している種目に 4 種目まで参加できる。
    - ・平成 26 年度 第 31 回日本身体障がい者水泳選手権大会 第 14 回全国障害者スポーツ大会(長崎大会)  
第 17 回日本知的障害者水泳選手権(25m)水泳競技会  
第 4 回 JSCA 全国知的障害者水泳競技大会 2014IPC 世界水泳選手権大会  
2014 年 7 月 22 日以降に開催された IPC 公認大会
    - ・平成 27 年度 第 22 回中部障がい者水泳選手権大会 第 26 回九州障がい者水泳選手権大会  
IPC 公認大会(第 18 回日本知的障害者選手権水泳競技大会を含む)
  - (7) ろう水協登録者については、次のいずれかの競技会もしくは(2)の競技会において 1 種目以上、別紙「実施種目及び標準記録一覧表」に示す標準記録に達している者
    - ・平成 26 年度 第 9 回日本ろう者水泳選手権大会 平成 26 年度春季静岡水泳記録会
    - ・平成 27 年度 日本マスターズ水泳短水路(25m)大会(7 月 20 日以前の大会)  
第 18 回日本知的障害者水泳選手権(50m)水泳競技大会
- ※ ろう水協登録者について 50m バタフライ、50m 背泳ぎ、50m 平泳ぎは予選のみオープン種目として参加できる。出場者は他の種目で標準記録を突破している者に限る。(表彰対象とはならないが、記録証は発行される。)
- (8) 1 人 4 種目以内とする。(知的水連登録者は(6)を参照すること)  
なお、傷病または不測の事態等の正当な理由なく棄権することは認められないので注意すること

### 14 競技方法

午前の部(予選)はマルチ方式(エントリータイム順)で競技を行い、世界新記録との比較でトップの選手に記念品を贈呈する。午前の部で、同種目同クラスで 8 位以内の選手はクラス別レース(決勝)に出場できる。

- 15 競技規則 S1～S14 は IPC 水泳競技規則による。

その他の障害はFINAに準拠した日本水泳連盟競泳競技規則による。

**16 申込方法** 別添「申込書」、「誓約書」に必要事項を記載のうえ、参加料を添えて下記に申し込むこと。

(1) 申込み締切り期日 平成27年8月3日(月)消印有効

(2) 申込み先 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町2-13-6 ユニゾ水天宮ビル3F

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 2015JP水泳大会事務局

※ 申込書は必ず郵送すること。

※ 参加料は必ず申込時に納入すること。また、一旦納入された参加料は、主催者の責による事由で大会を中止した場合以外、参加資格に満たない場合も含め、原則として返金しない。

※ 「申込書」「誓約書」など必要書類が提出されていない場合や必要事項に記載がない場合、また、出場資格・制限などに該当しない場合は、申込みを受け付けない。

※ 出場の可否については、8月10日頃に書面により通知する。8月15日頃までに通知が届かない場合は事務局まで連絡すること。

**17 参加料** 一人3,000円とする。(現金書留・郵便小為替・銀行振り込みにて、申込み時に納入すること)

※ 銀行振込については、振込者名を選手本人名とし、多数の選手分を振込む場合等は、その旨を申込書に記載すること。

振込先口座:	みずほ銀行 小舟町支店(店番号 105) 普通口座 1285022
口座名義:	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会ジャパロ
フリガナ:	ザイニホンショウウガイシヤスポーツキョウカিজヤパラグチ

**18 クラス分け**

(1) ステータス「L」の肢体不自由の選手と視覚障がいの選手はクラス分けを受けなければならない。ステータス「JR」で見直し年が2015年までの肢体不自由の選手はクラス分けを受けなければならない。その他、JPSFより連絡のある選手はクラス分けを受けなければならない。尚、時間調整は困難なので、クラス分け受検者は、必ず4日の以下の時間を確保しておくこと。※時間の変更は原則認めない。

クラス分けの詳細については別途 JPSF より連絡する。

① 肢体不自由 9月4日(金)11時~18時(予定)

② 視覚障害 9月4日(金)午後(予定)

(2) クラス分けを受ける者は、100mのS種目1つと100mのSB種目(SB1~3は50m)を含めてエントリーしなければならない。

(3) 会場:東京辰巳国際水泳場

**19 ドーピング検査** (以下、JADAからの注意喚起文による)

- 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
- 大会期間中現在で未成年者(20歳未満)については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意を所属競技団体へ別途提出しているもののみエントリーできる。
- 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。

**20 表彰**

(1) 男女別種目別に1位、2位及び3位の選手にメダルを授与する。ただし、**参加選手**が2名の種目は1位のみ、3名の種目は2位までにメダルを授与する。オープン競技にはメダルは授与しない。

(2) 参加者全員(オープン種目を含む)に記録証を発行する。

## 21 競技日程(予定)

平成 27 年 9 月 4 日(金) クラス分け(11 時～、2 レーン使用) 公式練習(13 時～18 時、8 レーン使用)  
 平成 27 年 9 月 5 日(土) 開会式 10 時 競技開始 10 時 45 分 (午前中予選、午後決勝)  
 平成 27 年 9 月 6 日(日) 競技開始 10 時 閉会式 17 時(予定)

### 競技順序

9 月 5 日(土)				9 月 6 日(日)			
午前の部(予選)				午前の部(予選)			
1	女子	400m	自由形	27	女子	200m	自由形
2	男子	400m	自由形	28	男子	200m	自由形
3	女子	150m	個人メドレー	29	女子	100m	背泳ぎ
4	男子	150m	個人メドレー	30	男子	100m	背泳ぎ
5	女子	200m	個人メドレー	31	女子	50m	背泳ぎ (聴覚 OP 含む)
6	男子	200m	個人メドレー	32	男子	50m	背泳ぎ (聴覚 OP 含む)
7	女子	100m	平泳ぎ	33	女子	50m	バタフライ (聴覚 OP 含む)
8	男子	100m	平泳ぎ	34	男子	50m	バタフライ (聴覚 OP 含む)
9	女子	50m	平泳ぎ (聴覚 OP 含む)	35	女子	100m	バタフライ
10	男子	50m	平泳ぎ (聴覚 OP 含む)	36	男子	100m	バタフライ
11	女子	50m	自由形 (OP 含む)	37	女子	100m	自由形
12	男子	50m	自由形 (OP 含む)	38	男子	100m	自由形
午後の部(決勝)				午後の部(決勝)			
13	女子	400m	自由形	39	女子	200m	自由形
14	男子	400m	自由形	40	男子	200m	自由形
15	女子	150m	個人メドレー	41	女子	100m	背泳ぎ
16	男子	150m	個人メドレー	42	男子	100m	背泳ぎ
17	女子	200m	個人メドレー	43	女子	50m	背泳ぎ
18	男子	200m	個人メドレー	44	男子	50m	背泳ぎ
19	女子	100m	平泳ぎ	45	女子	50m	バタフライ
20	男子	100m	平泳ぎ	46	男子	50m	バタフライ
21	女子	50m	平泳ぎ	47	女子	100m	バタフライ
22	男子	50m	平泳ぎ	48	男子	100m	バタフライ
23	女子	50m	自由形	49	女子	100m	自由形
24	男子	50m	自由形	50	男子	100m	自由形
25		4×50m	フリーリレー (日本代表)	51		4×50m	メドレーリレー (日本代表)
26		4×100m	フリーリレー (日本代表)	52		4×100m	メドレーリレー (日本代表)

## 21 個人情報の取り扱いについて

主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、主催者が定める「個人情報保護取扱規程」に基づき取り扱う。なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び水泳競技に必要な連絡等に利用する。

## 22 傷害保険への加入について

主催者において期間中(平成 27 年 9 月 4 日～6 日)の傷害保険に一括加入する(保険内容:死亡・後遺障害 1,000 万円、入院 5,000 円、通院 3,000 円)。これ以上の補償を望む場合には、各自で別途保険に加入すること。大会では、応急処置しかできないので、参加に当たっては、医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康と安全について

は十分留意すること。

## 23 競技に関する情報

- (1) 本大会は IPC Swimming 公認大会として実施する。
- (2) IPC Swimmingライセンス登録及び国際クラス分けが終了している選手の記録はIPC公認記録となる。
- (3) 本大会の水着に関する規程は、原則としてすべてFINA及びIPCの競技規則による。
- (4) プール内の室温は30度位、水温28度位、プールの水深は2mとする。
- (5) 競技会場の練習は次の通りとする。

9月4日(金)	メインプール	13時から18時
9月5日(土)・6日(日)	メインプール	9時から9時40分・昼食時間
	サブプール	9時から17時

※サブプールは、開会式及び閉会式を除き、常時利用できる。

- (6) 受付時間は次のとおりとする。

9月4日(金)	12:30~17:00	1階受付
9月5日(土)	8:30~10:00	1階受付
9月6日(日)	8:30~10:00	1階受付

※5日と6日の会場開館は、選手・関係者のみ 8:30、一般・観客等は 9:00 となる。

- (7) 本大会の予選について、選手の名前やレーンはあらかじめプログラムに記載されている。決勝については予選終了後に選手の名前やレーンなどを、1階総合受付とプール入り口に掲示する。(予定)  
競技は原則として、女子・男子の順にクラス番号順に行う。
- (8) 招集は、競技予定時刻の20分前に行う。棄権の場合は、招集時間の1時間前までに、決勝を棄権する場合は予選終了後1時間以内に、それぞれ招集員に届けること。また、他の種目出場等の理由により、時間に間に合わない場合も必ず届出を提出すること。
- (9) 手話通訳者は、招集と表彰場所に配置する。
- (10) 本大会の記録、氏名、付与されたクラス、特記事項などは協会及び連盟ホームページなどに掲載する。

## 24 その他

- (1) 本大会の成績は今後の国際大会日本代表選手の参考資料とする。
- (2) 大会当日の昼食は各自で用意すること。
- (3) 東京辰巳国際水泳場の駐車場について  
東京港埠頭株式会社が管理する有料駐車場が隣接してあります。  
利用時間: 8:30~22時まで 料金: 普通車 2時間以内 300円(1時間超過ごとに100円加算)  
※障がい者の利用は無料(障害者手帳を辰巳の森海浜公園管理事務所に持参して下さい 9:00~17:00)
- (4) 宿泊については、主催者(日本障がい者スポーツ協会)より斡旋する。希望者は別紙「宿泊案内」を参照のうえ、「宿泊申込書」に必要事項を記載し、期日までに申し込むこと。
- (5) 問い合わせは下記とするが全てFAXによること。FAXの宛名は「2015JP水泳大会」とすること。

### ①競技関係 (各自登録している団体へ問い合わせること)

(一社)日本身体障がい者水泳連盟	078-855-6621(担当:猪飼)
(一社)日本身体障がい者水泳連盟からの注意事項を連盟ホームページでよく確認すること	
(一社)日本知的障害者水泳連盟	03-3615-5584(担当:及川)
日本ろう者水泳協会	075-574-3071(担当:豊田)

②宿泊関係 JTBコーポレートセールス法人営業 03-5909-8100(担当:大塚)

③その他 日本障がい者スポーツ協会 03-5641-1213(担当:竹下)

本大会の申し込み要項は、日本障がい者スポーツ協会ホームページからダウンロードすることができます。<http://www.jsad.or.jp/news/category/cat032015.html>

